



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No. 11
令和2年 3月25日

《修了式で生徒の皆さんに伝えたかったこと》

たいせつな「あたりまえ」

校長 竹内 康裕

忘れもしません。2月28日は衝撃的な一日でした。学校はかつて経験したことのない長い臨時休校となりました。朝しばらく寝ていられたり、家でのおんびりできたり、ゆっくりと流れる時間を感じられたのは最初の一週間程度。その後は不安やうまく表現できないようなモヤモヤが生じます。連日のニュースからも、この先私たちに何が起こり、世の中がどう変わっていくのかというような、漠然とした不安を感じた人、感じている人もいます。感染拡大の心配とともに、自分の勉強や部活動のこと、毎日の自分はこれでいいのかというような不安・・・。「ずーっと学校が休みになればなあ」などと身勝手なぼやきが突然現実になったのに、そのことがストレスにもなっています。

登校できること、勉強できること、みんなと一緒にいられること、一緒に思いっきり動いて、一緒に思いっきり笑って、一緒に楽しむ。これまで「あたりまえ」として、特段に意識をしていなかったことが、今はこんなに新鮮で大切だと感じています。

見渡すと「あたりまえ」は身近にたくさんあります。家族がいること、ご飯をいただけること、新学期があること・・・。普段はあまり気にも留めていないことでも、もし、なくなってしまうたら・・・。だから、あらゆるものに感謝して大切にしたいものです。

今日、3月25日は時間差の登校日です。例年なら体育館で揃って修了式をしました。先日卒業した先輩達のいない少し広く感じる体育館で、一緒に学年の節目を迎え、教室ではこの一年間をじっくりと振り返るはずでした。今日、場所や動きが変わってしまっても、どうかこの一年間の自分や自分達を振り返り、成長できたことや、これからしっかりと取り組むべきことを、温かい思い出と共に思い起こしてください。

4月6日、皆さんはそれぞれに進級し、「上級生」になります。年上だから偉いわけではありません。より多く生き、より多く経験し、頑張り、より深く考えたことの積み重ねが「偉い」のです。そこからにじみ出る「人柄」や「生き方」が輝いてこそ「上級生」なのです。上級生にふさわしい考え方とは何か？どのような言動がふさわしいのか？答えは皆さんの心の中にあります。

今年度、私は皆さんに「利他心」をテーマにお話しをしてきました。世の中のため、人のために自分の力を発揮する。そのために力を磨く。このことを通して自分の考え方や心を高めよう。みんながより良い人柄を目指し、みんなで幸せな人生を送れたらいいな・・・。

明日からも11日間のお休みが続きます。自転車事故、SNSトラブル、犯罪被害に遭わないように気を付けてください。「自律」を心掛け、「あたりまえ」に感謝し、大切な時間を丁寧に使ってください。皆さんの今後の成長に期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動に温かいご理解とたくさんのご支援を賜りました。深く感謝申し上げます。4月、また新たに学校が始まります。引き続きよろしくお願いたします。

